

科目名	専門演習Ⅲ Seminar III						
科目担当者	岡 夏樹 OKA Natsuki						
単位数	4	配当年次	3年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	経営学部・経営学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×				ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)	
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 前期：卒業研究テーマを意識した論文輪講とプロジェクトを並行して実施し、卒業研究をスムーズに立ち上げる。</li> <li>● 後期：文献調査、システム設計、システム構築、実験・評価等の各過程の時間軸上の位置を意識した研究計画の下、卒業研究を進めつつ、論文の執筆を行う。</li> <li>● 卒業研究の途中成果や最終成果を、オープンキャンパスや学園祭でのデモ、対話システムコンテスト等への参加、学会発表等の形で発表することを目指す。</li> </ul>						
授業の到達目標	<p>① AI・データサイエンス分野に必要な知識や技能を深め、生成 AI が使いこなせるようになる。具体的な目標は学生ごとに異なるが、たとえば、既存の AI プログラムに対して、自分がやりたいことを実現する上で必要な追加修正が、簡単なものならある程度できるようになる。</p> <p>② プロジェクト実施に役立つデザイン思考を身につける。</p> <p>③ プロジェクトを楽しみ、自分が成長するとともに、周りの人の成長を助けられる。</p> <p>④ 1年間継続する卒業研究を実施し、論文としてまとめ、成果を発表する経験を積む。</p>						
授業計画・内容	1	輪講 1		16	文献調査		
	2	↓	プロジェクト構想立案	17	↓	論文構成検討	
	3	輪講 2	↓	18	システム設計	↓	
	4	↓	情報収集	19	↓	論文構成詳細化	
	5	輪講 3	↓	20	システム構築 1	↓	
	6	↓	システム作成 1	21	↓	論文執筆 1	
	7	輪講 4	↓	22	システム構築 2	↓	
	8	↓	システム作成 2	23	↓	論文執筆 2	
	9	輪講 5	↓	24	実験・評価	↓	
	10	↓	評価・改良	25	↓	論文執筆 3	
	11	輪講 6	↓	26	システム改良	↓	
	12	↓	発表準備	27	↓	論文執筆 4	
	13	輪講 7	↓	28	発表準備	↓	
	14	↓	発表	29	↓	論文仕上げ	
	15	輪講 8		30	発表		
授業外学修 (事前学修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講の予習や参考文献の予習 (毎週 1 時間程度)</li> <li>● 授業時間外のプロジェクト活動 (毎週 1 時間程度)</li> </ul>						
授業外学修 (事後学修)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 授業時間外の研究活動 (毎週 2 時間程度)</li> </ul>						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法			評価比率		到達目標との対応	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 輪講での発表・質問・討論・クラスへの貢献</li> <li>● プロジェクトへの貢献・自分の成長・他の人の支援</li> <li>● 卒業研究の質、卒業論文の質、研究発表の質</li> </ul>			25%		①	
			25%		②③		
			50%		④		
成績評価基準	<p>秀：(評点 90 点以上) 到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：(評点 80 点～89 点) 到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：(評点 70 点～79 点) 到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：(評点 60 点～69 点) 到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：(評点 60 点未満) 到達目標に達していない場合</p>						
教科書							
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>● The Batch: Weekly AI news, <a href="https://read.deeplearning.ai/the-batch/">https://read.deeplearning.ai/the-batch/</a></li> <li>● 発想する会社!: 世界最高のデザイン・ファーム IDEO に学ぶイノベーションの技法, トム・ケリー他, 早川書房</li> <li>● 理科系の作文技術 (中公新書 624), 木下 是雄 (著)</li> </ul>						
その他	<p>どんな学生の受講が望ましいか: ゼミを自分たちで作ろうという意欲。みんなでワイワイやるのが好き。AI・データサイエンスに興味がある。教員と対等に議論したり学生どうし切磋琢磨できるようになりたい。よりよい社会にするため考え、行動したい。産経大の AI・データサイエンス盛り上げ隊の隊員になりたい。教員の興味関心(ことばから感性まで幅広く人の心のしくみを解き明かしたい)と重なりがある。生成 AI を使いこなしたい。継続して研究を実施する力、論文執筆の力、研究発表の力をつけたい。</p>						